

製品名: SC35 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02573**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 25 kDa; Observed MW: 35 kDa

抗原情報

遺伝子名	SRSF2
別名	Protein PR264; Splicing component; 35 kDa; Splicing factor SC35; SC-35; Splicing factor; arginine/serine-rich 2
遺伝子 ID	6427
SwissProt ID	Q01130
免疫原	ヒト SC35 の合成ペプチド

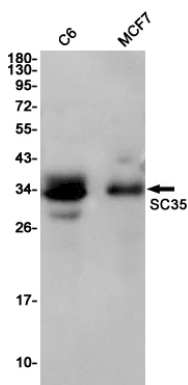
背景

プレ mRNA のスプライシングに必要。最初期の ATP 依存性スプライシング複合体の形成に必要であり、スプライソソームの組み立て中に 5'および 3'スプライス部位の両方に結合したスプライソソーム構成因子と相互作用する。また、U1 および U2 snRNP とプレ mRNA との ATP 依存性相互作用にも必要である。RS ドメインを介して他のスプライソソーム構成因子と相互作用し、5'および 3'スプライス部位結合構成因子である U1 snRNP と U2AF の間に橋渡しを形成する。プリンを多く含む RNA 配列、5'-AGSAGAGTA-3' (S=C または G) または 5'-GTTCGAGTA-3' に結合し、 β -グロビン mRNA に結合してスプライシング経路にコミットすることができる。リン酸化形態 (SRPK2 による) は、シスプラチン治療に対する細胞アポトーシスに必要です。

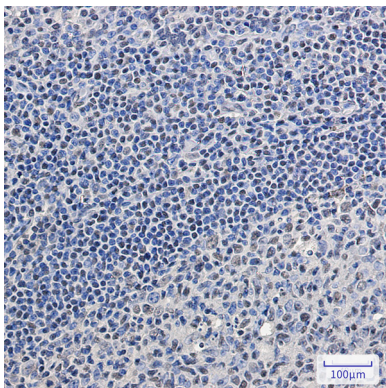
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



SC35 抗体を使用した C6、MCF-7 溶解物中の SC35 のウエスタン プロット分析。



SC35 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。